2023 年度（令和 5 年度）　事業計画

［総括］

2023 年度は新型コロナウイルス感染症の対応が大きく変わる。5 月 8 日に感染症法の 2 類感染症から 5 類感染症に変更になる。これにより行動制限やマスクの着用、感染者の把握、感染者を診療する医療機関への補助といった医療的な措置が変わる。特に感染の疑いがある場合の診療は指定医療機関のみではなく、どの医療機関でも診療ができるようになる。ただ、診療するかは各医療機関に委ねられているため診療体制がどのように変わっていくかは不明である。

今年度は医療分野における 2023 年問題の年である。2023 年以降、アメリカ国外の医学生は、世界医学教育連盟（WFME）による認定を受けた医学部の卒業生でないと米国医師資格試験（USMLE）の受験資格を得られなくなる。そこで、日本国内の医学部では国際基準に適合したカリキュラムへの改編が急速に進められている。特に「見学型」の診療実習から国際基準で重要視されている「診療参加型」にかわり、時間数も増えている。今後はコメディカル教育にも波及し、臨床実習を行け入れる施設も対応を検討する必要が出てくることが予測される。

技師会の動向としては医師の働き方改革におけるタスクシフト/シェアに伴う技師法改正が施行され、日本診療放射線技師会が実施する告示研修の受講が開始されている。愛知県診療放射線技師会としても昨年同様、年 12 回の告示研修を開催する予定である。それに加え平成 26 年から行われた業務拡大に伴う講習会も開催していく予定である。このように日本診療放射線技師会と共催する事業であるフレッシャーズセミナーや基礎講習などの開催も検討していく。ただ今後は各県で行っている基礎講習もそのうち e-Learning に代わってくると思われる。

本会の事業としては愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の東海地区 4 県で開催している東海四県診療放射線技師学術大会を 2024 年 2 月に名古屋駅前のミッドランドホールにて会場型で開催する予定である。学会内容については今から検討を進めていくが名古屋駅前という立地条件のよい会場で行うため、多数の参加をお願いする。

地域の福祉・健康関連イベントに例年参画していますが以前に比べイベントが少なくなっており、近年では刈谷市で行われる福祉・健康フェスティバルのみの参画となっている。イベントに参画することで診療放射線技師や放射線検査を知って頂ける機会となるため今年度も積極的に参画する。また、第 16 回県民公開講座を 11

月に名古屋市立大学病院のホールをお借りして実施する。マル得セミナーや骨密度検査の体験、弦楽 4 重奏のミニコンサートなど従来の開催方法で開催できるように準備を進めていく。このような活動を通じて地域住民への健康福祉の向上に寄与していきたい。

研修会や各メーカーと共催しているセミナーについて会場型での開催を基本としていくが、WEB 開催と会場型開催でのメリット、デメリットを考慮しながら開催方法を検討していく。

2023 年度は公益法人設立 35 年を迎え記念式典などの事業を実施する予定となっている。ただ、新型コロナ感染症が 5 類感染症になるとしても終息するわけではなく現時点で感染状況がどのようになるかは予測がつかない。そのような状況下で記念式典を実施するとの決定は難しい。そのため、開催を延期するほうが良いと判断し、2026 年度には創立 75 周年を迎えるため公益法人設立を技師会創立に変更し記念式典などの事業を行うこととした。

会員各位には、診療放射線技師にかかわる諸問題を十分に理解頂き、当会が実施する諸事業に積極的に参加していただき、組織運営に絶大なるご支援とご協力をお願いして、以下の事業計画案を提案する次第である。

［１］地域保健共催事業への参画

１）地区医療放射線展の開催（広報部）

各地域で開催される健康関連のイベントには、地区役員及び会員の協力を得ながら引き続き参加の予定である。各地での医療関連の催しについても本会作成のパネルの貸出や参加することで、地域住民の保健医療及び福祉活動にも積極的に関わり、放射線についての正しい理解と知識の普及啓発に加え、医療における診療放射線技師の役割や技師会組織についての理解も深まるようにする。

しかし、昨今の経済情勢により各地方自治体は健康関連イベント予算の縮小傾向にあり、さらに新型コロナウィルス（COVID-19）対応で開催自体が危ぶまれている。本会としては柔軟に対応する予定である。

参加内容　　医療放射線に対する正しい理解と知識の啓発

（１）医療放射線、医療被ばくに関するＰＲパネル展示
（２）各種臨床画像の供覧
（３）医療放射線に関する相談
（４）医療放射線検査のＶＴＲ放映
（５）パンフレット〈医療用放射線Ｑ＆Ａ〉の配布　　等

（以下の行事は総て予定）

①　第２４回西三地区医療放射線展
（福祉・健康フェスティバル 2023 への参加）
期　日　　令和５年１０月１５日（日）
場　所　　刈谷市総合文化センター
対　象　　刈谷市民他

② 尾西地区医療放射線展
（一宮市民健康まつりへの参加）
中止

他地区に於いても、地域保健共催事業に積極的に参加していきたい。

２）レントゲン週間のイベント開催（広報部）

第１６回県民公開講座

期　日　　令和５年１１月１２日（日）
場　所　　名古屋市立大学病院

［２］診療放射線技師の資質向上に関する事業

１）学術大会・研修会の開催（学術部）

科学技術の急速な進歩は医療機器・関連技術にも大きな変化をもたらす。医用画像関係の技術革新は著しく、多様化する医療現場において診療放射線技師の果す役割と責務は一層重要となる。

患者さんはより高い医療と満足を求めて医療機関を選ぶようになりつつある。その中で診療放射線技師はどうあるべきか、医療人としての自覚と職業倫理が高揚できるような企画を考える。

期　日　　通　年
場　所　　会員の勤務する県内の医療機関・本会研修室等
内　容　　（公社）愛知県診療放射線技師会学術大会
　　・・・・・１回（第３５回学術大会）
　　（公社）愛知県診療放射線技師会研修会
　　・・・・・４回
　　（公社）愛知県診療放射線技師会寺子屋研修会
　　・・・・・１～２回
対　象　　（公社）愛知県診療放射線技師会会員及び
　　愛知県在住及び勤務する診療放射線技師

２）講習会（講演）の開催（執行部）

チーム医療における安全や質の確保に必要なノンテクニカルスキルに関連した講習会（講演）等の開催について検討する。

３）調査研究活動の充実（組織調査部）

（公社）日本診療放射線技師会放射線管理士分科会、学術部との連携を図り、放射線管理に於ける調査研究を充実する。加えて、会員を対象に線量計の貸し出しを行う。
（公社）日本診療放射線技師会認定資格取得者の組織化及び活動の強化を目指す。

４）共催事業

① 第２６回さつきセミナー（学術部）

期　日　　令和５年５月２８日（日）
場　所　　JA あいちビル　および　WEB 開催
対　象　　（公社）愛知県診療放射線技師会会員及び
　　愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目　的　　診療放射線技師の生涯教育における放射線領域関連技術の講演会の開催

② 第２３回サマーセミナーの開催（組織調査部）

期　日　　令和５年８月１９日（土）
場　所　　電気文化会館
対　象　　（公社）愛知県診療放射線技師会会員及び
　　愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目　的　　診療放射線技師の属する職場の管理に必要な事項についての講演会並びに討論会の開催

③ 第３３回診療放射線技師フォーラム（学術部）

期　日　　令和５年１１月１６日（木）
場　所　　ウインクあいち

対　象　　（公社）愛知県診療放射線技師会会員及び
　　愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目　的　　診療放射線技師の生涯教育における放射線領域関連技術の講演会の開催

④ 第２４回新春セミナー（組織調査部）

期　日　　令和６年１月　予定
場　所　　エーザイ株式会社名古屋コミュニケーションオフィス
対　象　　（公社）愛知県診療放射線技師会会員及び
　　愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目　的　　診療放射線技師の生涯教育における初心者の放射線領域関連技術、並びに全会員のための全人的教育の講演会の開催

⑤ ANTs（学術部）

期　日　　通年　（４回を予定）
場　所　　本会研修室（又は WEB 配信）
対　象　　（公社）日本（愛知県）診療放射線技師会会員及び
　　核医学検査または研究に従事する診療放射線技師
目　的　　診療放射線技師の生涯教育における核医学検査に関する関連技術の習得及び最新の情報提供を目的とした講演会の開催

その他、本会会員及び診療放射線技師の資質向上に寄与する共催依頼があれば積極的に参画する。

５）（公社）日本診療放射線技師会認定事業・研修・セミナー等の開催（執行部）

（公社）日本診療放射線技師会と呼応し、諸資格の認定講習会・試験、研修会やセミナー等を、会員皆様の参加しやすい形態にて、隣県との連携も考え、地方開催する。

６）地域の学術大会や研究会などへの参加（執行部）

研究発表を促し、シンポジスト等の派遣の依頼にも応え、会員の学術研鑽や研修の場として活用できるよう積極的な参加を呼びかける。

① 第１５回中部放射線医療技術学術大会
（令和５年度　第３１回　中日本地域放射線技師学術大会・
　　第５７回　日本放射線技術学会中部部会学術大会）

期　日　　令和５年１１月２５日（土）２６日（日）
場　所　　アオッサ福井
当　番　　（公社）福井県診療放射線技師会
　　（公社）日本放射線技術学会中部支部

② 第６４回東海四県診療放射線技師学術大会

期　日　　令和６年２月４日（日）
場　所　　ミッドランドホール

当　番　　（公社）愛知県診療放射線技師会

７）後援事業について（執行部）

他団体が運営する医療関連の研修会・講演会など、本会の趣旨と合致するものについては、後援依頼があれば常務理事会に諮り後援する。

［３］組織の充実・調査活動

１）地区活動の推進（組織調査部）

各地区との連携を密にし、地区総会や研修会の開催など地区理事を中心にした地区活動の強化をはかり、各地区の住民に対しては医療放射線展などを通し放射線の安全管理についての知識の普及や啓発活動を行い、地域医療の発展向上に寄与する。

期　日　　通年
対　象　　県下９地区
名古屋東地区、名古屋西地区、名古屋南地区、名古屋北地区
東三地区、西三地区、知多地区、尾東地区、尾西地区

２）職場責任者会議（マネージャー・サブマネージャーセミナー）の開催（組織調査部）

各施設の所属長に対して技師会に関する理解と協力を要請し、技師会活動の活性化を図るとともに、本会の基盤強化及び情報交換の場を提供する。数年前から職場責任者会議（マネージャー・サブマネージャーセミナー）とし範囲を拡げ、各施設の管理職のみならず、次世代を担うスタッフを対象としている。（会議を通して技師会への入会と開催行事への参加を促進する）

期　日　　令和６年２月　予定
場　所　　未定
対　象　　（公社）愛知県診療放射線技師会会員及び
愛知県在住及び勤務する診療放射線技師

３）Cherish の会について（女性委員会）

（公社）日本診療放射線技師会が主催する女性活躍推班の活動と呼応し、本会でも女性技師が活躍できる会を設立した。令和２年より女性活躍推進班は業務改善推進委員会として引き継がれ、本会でも引き続き積極的な活動を進め、女性活躍推進の支援に努めるとともに、診療放射線技師の情報交換を通し、広義で職場環境を整え、働き方改革の推進にも寄与できるような有意義な委員会としていく。

期　日　　令和５年６月　および　秋　予定
場　所　　未　定
対　象　　（公社）愛知県診療放射線技師会会員及び
愛知県在住及び勤務する診療放射線技師
目　的　　診療放射線技師の生涯教育における放射線領域関連技術、交流を通じて職場環境・働き方（改革）の可視化と講演会開催

［４］発刊事業（広報部）

通常総会はじめ学術大会や研修会などの本会各種事業の案内、会務の報告、福利厚生、地区活動、会員の移動状況、その他の情報を伝える。

期　日　　通　年
内　容　　愛知県診療放射線技師会誌・・・・・２回
　　愛放技通信・・・・・・・・・・・・・適宜

［５］会員親睦行事の開催（組織調査部）

新型コロナウィルス感染症（COVID-19）の状況を考慮しつつ、会員相互の親睦を図る。

期　日　　令和５年　秋　予定
場　所　　未　定

［６］県技師会研修室について（執行部）

平成２１年度に県技師会事務所の隣室を研修室として整備した。研修室は、会議（理事会・各部会）・研修会・講習会の会場として利用されている。今年度も公益社団法人として、診療放射線技師の技術向上を目的とした研修や技術習得の場として活用する。
また会員相互の研修会・勉強会などにも積極的な利用をお願いする。

［７］ホームページの拡充（広報部・組織調査部）

ホームページを通して本会の情報発信を行う。公益法人として、県民への情報提供及び診療放射線技師をはじめとする医療関係者へ、有用なものとなるようにする。適宜会議を開催しホームページの内容を拡充する。

［８］相談事業（被ばく相談委員会・執行部）

「放射線被ばく」や「放射線関連検査・治療」に疑問や不安を抱える方に対して、正しい知識を伝え国民の健康増進に寄与するため、メールや地域医療放射線展などで相談に応じる。

［９］その他

以上の基本的事業のほか、会員の福利厚生に関する事項や（公社）日本診療放射線技師会はじめ関係諸団体や賛助会員からの要請等については、弾力的に対応

する。

　新型コロナウィルス感染症（COVID-19）の状況を考慮し、あらゆる事業について、WEB 開催などの対応を検討する。